

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 25 日

事業所名 キッズワールドサポートOcean II

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	1		活動の状況で低学年と高学年を分け、高学年は個室を利用する等していく。
	2	職員の配置数は適切である	1		4		定期的に外部より講師を招いたりしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	3	必要時に応じてスロープを取り付ける	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		朝の申し送りで共有している。	午後出勤の職員に関しては申し送りノートを活用して共有する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1			保護者様の意向等を把握し業務改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	1	公開している。	継続していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2			継続していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	3	1		コロナ感染症の影響で研修の機会がなかったので状況を見て確保していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				継続していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		2	標準化されたツールがあり分かりやすい	全職員が見れるようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		休日は屋外活動を多く取り入れている。	継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		各々の得意な事を伸ばし苦手な事は無理	継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			朝の申し送りで共有している。	継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		申し送りノートの活用や朝の申し送りで共有している。	継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		複写式連絡ノートの活用と支援記録を	継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		定期的にモニタリングを行い見直しの必要性を判断している。	継続して職員全員で取り組んでいく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2			職員全員で共有し継続していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	3	2		児童発達管理 責任者が参加 している。	児童発達管理責任者の参加が厳しい場合 は 補佐の役割をしている職員が参加する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5				継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	3	1	該当者がいません	該当者を受け入れる場合は体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5				継続していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4	1		まだ該当者は いないが提供す る 予定である。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	3	1		コロナ感染症の影響で研修の機会がなかつ た ので状況を見て確保していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	1		コロナ感染症の影響で機会が少なかつたが 少しずつ出来るようになってきた。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		2	3		コロナ感染症の影響で出来なかつたが状況 を みて参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4		1		継続していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		2	3		支援を検討していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	1		契約時に説明を している。	継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5				継続していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			5		コロナ感染症の影響で開催出来なかつたが 状況を見て検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5				継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	1		活動予定表を 配布している。	継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	5				継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		1	4		コロナ感染症の影響で招待には至らなかつ た が状況を見て検討していく。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			玄関に貼り付けてある。	継続していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2	1	年2度の予定	夏休みと春休みに予定している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		4	1		コロナ感染症の影響で機会がなかったが、状況を見て機会を確保していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		身体拘束を行う事がないので契約書には記載していない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1	事前に保護者様より報告を受けている。	おやつ提供時等に再確認を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1			継続していく。